

題 字

ひら まつ たえ こ
平 松 妙 子

(90才)

千種

発 行

社会福祉法人 おおとり福祉会
 特別養護老人ホーム 朗友館
 複合型施設 朗友サロン
 介護老人保健施設 堺ラ・メール
 ほがらか草部グループホーム
 ほがらか福泉グループホーム



撮影者：村尾つねさんのご主人

2025年のこんにち

♪こんにちには♪こんにち
 は♪西のくから♪
 この懐かしいメロディが流
 れると、三ツ石美恵さん
 (99)は手拍子を打ち、目を
 輝かせて微笑まれます。大阪
 万博の話題が連日テレビなど
 で取り上げられる中、ご利用
 者の皆様にもあの時代の記憶
 がよみがえります。「若い頃



村尾つねさん(100)と娘様

人々の夢と挑戦
 の象徴です。過
 去を振り返り、
 新しい技術に驚
 き、未来への期
 待を抱く——そ
 れは、今も55年
 前も変わらない
 ことなのでしょ
 う。

は、盛大なお祭りやと思って
 万博に行ったわ。にぎやかで
 楽しかったなあ」と懐かしそ
 うに語るのは田中政子さん
 (101)。
 村尾つねさん(100)の面会
 に訪れた娘様は「村から観光
 バスが出て、母と一緒に万博
 へ行きましたよ。あの時の母
 は何才？45才かあ懐かしい
 ね」と目を細めながら思い出
 を語られます。

ですが、大正生まれのご利用者
 はわずか5名。大正・昭和・
 平成・令和という激動の時代
 を肌で感じ、この令和の時代
 をどのように感じているので
 しょう。
 「こんな薄い板で、相手の
 顔見て話せるんか。すごい
 なあ、どうなってるんや」と、
 興味津々にタブレットを覗き
 込む谷口幾之助さん(106)。
 その好奇心こそが、ご長寿の
 秘訣なのかもしれません。ま
 た、笹井利夫さん(103)は「働
 き盛りやったから万博には
 行っていないけど、あの熱気は
 すごかったよ。今の日本はい
 い。万博ができるってことは
 平和や。ありがたいよ」と、
 しみじみと語られました。

万博は、その時代に生きる

花びらが舞う並木道でハイポーズ

この日はお天気にも恵まれ、桜はちょうど満開。桜



のびのびと過ごすごうきな一日でした。

また、桜並木を歩いていると、花びらが手のひらにふわりと落ちてきて、思わず顔を見合わせてにつこり。心も身体も春の陽ざしに包まれ、

春の風に誘われて、西原公園へ桜を見に出かけました。



「桜の花びらが手に落ちて来たよ」
関本英子さん(93)

ね」と桜を眺めて親子一緒にお茶を楽しんでいただきました。

「外で飲んだら美味しいね」と関本英子さん(93)の一言に、皆さんも自然と笑顔が見られます。

祭りも行われて、お花見気分も高まります。
大鳥廣恵さん(83)のご家族も現地で合流。快晴の空の下、大鳥さんは「きれいや

ランチ行こ!



「美味しいパンが食べたい!」という声があり、今回は、コメダ珈琲にランチに行きました。
車で向かう途中、ぼかぼかとした陽射しが心地良い景色に目をとめた山田百子さん(89)は、「久しぶりに外に出て気持ちいいね」と楽しそうに話されていました。

「楽しいよ」とにつこり
今中美代子さん(92)



「食べられるかな?」と言いつつも、ビザトーストを頼んだ今中美代子さん(92)は「うん、美味しい!」と思わず笑顔が溢れました。
春の訪れを感じながらのランチは、心もお腹も満たされる素敵な時間となりました。



「どれにしようかな」
山田百子さん(89)

あ」と驚きの声があがります。しつかりとボリュームがあり、

寿司



「美味しい!」という声から、回転すしの魚べいに出かけました。
注文すると新幹線の形をしたお皿が目の前まで滑らかに運ばれてくる



「こんなに進んでるんやね」
驚く湯浅武行さん(78)

いわ」と笑顔。変わり種にも挑戦!「最後はやっぱキウウリやな」と締めくくりました。



「美味しいよ」廣畑富子さん(96)

仕掛けになっていました。「新幹線で来た。びっくりした」と湯浅武行さん(78)は目を丸くしていました。
多くの種類の寿司がずらりと並び、どれを選ぶのが悩むのも楽しいものです。
廣畑富子さん(96)は「ハマチが食べたかった。うれし



右：八木幸子さん(89)
中：尾添五月さん(74)
左：上村三四子さん(85)

鳳北町公園へお花見に出かけました。車中から桜が見えると「咲いてる」と歓声が上がり、公園に到着すると写

桜お花見



思い出せし、今日来てよかったな」としみじみ。金田末香さん(83)は「色んな花が咲くし春はいいよね」と、春の風景に心を和ませておられました。

桜だけでなく、チューリップやタンポポなどたくさんのお花を見て、春の訪れを楽しめる外出となりました。



チューリップを見る
金田末香さん(83)

真撮影を希望されたり、花びらを髪に飾ったりと、笑顔あふれる時間が流れました。「桜を見ると元気をもらえるね」と話していたのは八木幸子さん(89)。上村三四子さん(85)も「桜と一緒にきれいな写真を撮ってよ」と嬉しそうにさ

れていました。川西花子さん(96)は「昔のお花見のことを



包丁でチョコレートを細かく切る作業をしています♪

「バレンタイン」にちなんだガトーショコラ作りを行いました。チョコレートを細かく刻む作業からスタート。最初は順調に包丁を扱っていたものの、少しずつスピードが落ちてくる様子。「これは、力があるよ。俺の出番や」と中山紀弘さん(85)は笑顔で作業を続けられていました。次は湯煎でチョコ

ガトーショコラ
「バレンタイン」にちなんだガトーショコラ作りを行いました。チョコレートを細かく刻む作業からスタート。最初は順調に包丁を扱っていたものの、少しずつスピードが落ちてくる様子。「これは、力があるよ。俺の出番や」と中山紀弘さん(85)は笑顔で作業を続けられていました。次は湯煎でチョコ



桜を見ながら昔話に花が咲きました♪
川西花子さん(96)

丸亀製麺

今回の外出のお目当ては、みんな大好きな丸亀製麺のうどん。春休みということもあり、アリオ鳳のフードコートは多くの人で賑わっており、活気にあふれていました。

さまざまなお店から



お店みたいに美味しいわ～
仲辻徹さん(86)

コを溶かし、卵などを加えて混ぜますが、力のいる作業に苦戦。それでも「自分で少しでもすると美味しくなるよ」楽しそうに混ぜていたのは仲辻徹さん(86)。型に流し込む際には、「うまくできるかな?」とワクワクする姿が見られました。

焼き上がったガトーショコラは、見た目も香りも本格的!「また作りたいね」といった声もあがり、大盛り上がりとなりました。



「本当においしかったです♡」
井手やよいさん(75)

さんは感動の表情! 揚げたての天ぷらも絶品で、「こんなに大きいかき揚げ見たのは初めてやわ」と驚かれていたのは、矢野直子さん(84)。井手やよいさん(75)も「美味しくてお汁まで飲んでしまいました!」と満足そうに話されていました。

美味しいうどんとともに、皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。



「こんな大きいかき揚げ見た事ない!」
矢野直子さん(84)

お店ではコシのある麺に、皆は美味しそうな香りが漂い、参加者の皆さんからも「良い匂いで一気にお腹がすいてきた」と笑顔で話されていました。

ぽかぽか家族

福泉・草部



ほがらか福泉グループホームの今年最初のイベントでは、無病息災を願って参加者全員でだるまの目入

れに挑戦しました。

ご利用者は、職員手作りの色とりどりのだるまの中から気に入ったものを手に取られました。そして、ご家族と協力しながら、一緒に思い思いにだるまに目を入れていきます。



だるまに目を描く
田畑久美子さん(83)

田畑久美子さん(83)は、「これ私が描いたの」と満足そうに話されました。どのだるまも個性豊かで、見てただけで笑顔がこぼれます。



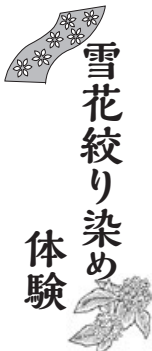
ご家族と一緒にお菓子を
食べる牧内ちがさん(88)

だるま作りの後はお待ちかねのおやつの時間です。紅白饅頭に抹茶を添えて、

を振り返るスライドショーが行われました。素敵な写真ばかりで、皆さん画面に釘付けになりました。



皆揃ってハイチーズ！



まだ寒さが続く中、温もりあふれるレクリエーションとして、雪花紋り染め体験に参加しました。

一つとして同じ模様が生まれない伝統技法に挑戦したのは、平島嘉一さん(82)。「上手くできるかなあ」と少し不安そうな表情を浮かべながらも、職人さんと共に慎重に作業を進めます。



「こんなに綺麗な模様が出来るんやなあ！」と、平島さんと職員は思わず顔を見合わせました。

続いて、保武紀世子さん(90)の出番です。「これ、娘にお土産に持って帰ろうと思うの」とにっこり。大切な娘

染料に浸している間も、「どんな模様になるんやろう」とわくわくされていました。そして、布を広げると、想像を上回る美しい雪花模様が広がっていました。

今回の体験は、色鮮やかな思い出を刻む素敵なひと時となりました。



綺麗に出来ました
保武紀世子さん(90)

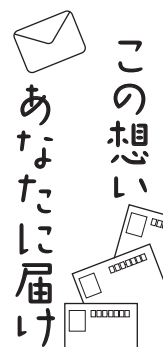
新入居紹介

福泉グループホームに入居された清水睦美さん(85)。
いつも笑顔でお話好きな方でスタッフにもご入居の方にも気さくに話しかけて下さります。「昔はよくパチンコに行つたな」と昔話に花を咲かせることもあります。手先も器用で几帳面な



清水睦美さん(85)

お人柄から、洗濯たたみや食器拭きも誰よりも丁寧に行なつて下さり、助かっています。これからも色々お話を聞かせて下さいね。



春の訪れとともに、ご家族へ感謝の気持ちを届けようと、はがき作りが行われました。

まずは一言メッセージを添えます。「元気なことを一番に伝えたい！」と笑顔で話される杉村幸枝さん(95)。花型のスタンプも添えて、彩り豊かなはがきを完成させました。

投函する際には、「こうやっ

昔の懐かしさを思い出して頂こうと、泉ヶ丘にあるビッグバンに行くことに。



到着すると、まずは子ども達が遊ぶ遊具のエリアへ。

「かわいいいわね。私も昔はよくボラ

ンテアで子ども達と一緒に遊んでいたの」と思わず笑顔になる山本文代さん(99)。



ライブラリー前に写真を撮る
佐藤祐一さん(79)

懐かしいタイプターを前に写真を撮る佐藤祐一さん(79)。輝かせます。「あつこれや」と佐藤祐一さん(79)。タクシー運転の勤務後によく行っていた銭湯の番台を見て、当時の思い出を振り返りながら楽しめました。

てはがきは届いているんやなあ」と感慨深げに話されていました。それぞれの想いが込めら



葉書に思いを込めて
杉村幸枝さん(95)

れたはがきが、ご家族のもとへ届き、心温まるひとときとなることでしょう。

梅外出



柔らかな日差しが春の訪れを感じさせる頃、ほのかに梅の香りが漂う荒山公園に行きました。赤・桃・白・黄の梅を眺めながら、「昔よく家族で来てた。時期によっていろんな梅を見られるよ。梅を見た後は多治速比売神社でお参りし



お団子見つけている
戸禰信夫さん(78)

てから帰ってた」と思い出を語る戸禰信夫さん(78)。



満開の梅の前にパシャリ！

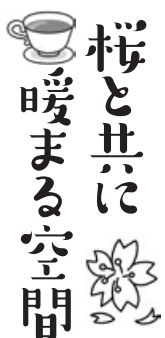
散策の後は、おやつを食べに行きました。店内のいろんなお菓子に目をキラキラ輝かせながら、選んでいたのは東口千代子さん(93)。皆とテーブ

ルを囲んでプリンを召し上がられ、「おいしいなあ。ありがとう」と喜ばれていました。



梅を見て笑みがこぼれる
東口千代子さん(93)

「また来ようね」と話す皆さんには梅の花にも負けない笑顔の花が咲きました。



楽しみにしていたお花見当日は、あいにくの雨模様に。がっかりしつつも気分を切り替えて、桜の木を店内で楽しめる「桜珈琲」へ向かいました。



美味しさに笑みが零れる
北口喜久江さん(92)

店内はやわらかな照明と香り高いコーヒーの匂いに包まれています。「感じの良いお店やね」と川岸由紀子さん(83)。

変わりましたが、雨の日にはしか味わえない春のひとときを過ごせました。

食後は、店内の桜の木をバックに写真撮影。「ここも良かったけど、来年こそは満開の桜を外で見たいね」と満面の笑みで言っていたのは北口喜久江さん(92)。



「食べるのもったいないね」
加来美代子様(81)

旬の果物を食べたい！ということで、いちごが好きなご利用者といちご狩りに出かけました。

「天気も良く、暖かいね」と皆さんにつこり。車内ではご利用者の大好きな曲を聴きながらみんなで談笑して楽しい時間を過ごしました。

八尾市にあるいちご狩り施設に到着。ふんわり、いちごの香りが漂ってきます。5種類のいちごの食べ比べが出来るということであるんな種類のいちごを収穫しました。



堺ラ・メール



春便り



上手に収穫
常松价子さん(90)



たくさん収穫できてご満
悦の山西貞子さん(87)

の笑みで食べ進めます。「とっても甘くておいしいわ、あんたにも食べ」と職員にもいちごを勧めてくれます。「帰ってから食べたい」といくつ

に興味津々。大きくて真っ赤ないちごをたくさん収穫しました。「とっても甘くておいしいわ」と喜んでいただけました。

真剣な表情でいちごを収穫しているのは常松价子さん(90)。収穫したいちごを満面

「いちごは好きやけどね、いちご狩りなんていままで行ったことない」と出発前からワクワクしていたのは山西貞子さん(87)。初めてのいちご狩り



コップを一生懸命に拭く
左：岡本美江子さん(92)
右：門田カオルさん(105)

職員が「お二人は相変わらず仲が良いですね」と尋ねると、岡本さんは「門田さんが好きやから、喋ったり、色んなことしたら楽しいねん」と、笑顔で言われます。普段から、じゃんけんが好きなお二人に、職員が

毎日お仕事
頑張ります！
仲よしコンビ

で」と言われる岡本美江子さん(92)。お相手の門田カオルさん(105)と他愛もない話を談笑されながら、拭いて下さりしました。

職員が「いつもありがとうございます」とコップ拭きの声をかけると、「あの人がいつも頑張っているから私も頑張る」

か持つて帰られました。また行きましょうね。



最後にじゃんけんに勝
利し喜ぶ
門田カオルさん(105)

「じゃんけんしませんか」と声をかけると、門田さんから、職員とじゃんけんをし、まさかの3連敗。門田さんが、がつくりと肩を落としていると、岡本さんが「見ときや！仇とつたるで！」と言うと、職員から意気揚々と勝利を収め「見てみ、

モールの外へ

「また喫茶店に行きたいわ」の声から4階メンバーでイオンモール外出へ。

天体関係のお仕事をされていた小西三昌さん(82)と、妻のアヤ子さん(77)。いつも一緒に過ごされるおしどりで



吉田光男さん(86)と娘様
で喫茶デート♡

きて楽しかったよ」と、話されるのは吉田光男さん(86)。「また皆で来たいね」と、帰りの車で盛り上がりました。

「外で食べるおやつは格別や」と、カメラを向けると上機嫌な古路正彦さん(78)。「とっても甘い！」と、おやつが大好きな松井末子さん(92)。ドーナツに皆さん絶賛でした。

「久しぶりに娘とデートがで



気分上々の
古路正彦さん(78)

夫婦です。

「素敵な所で美味しい喫茶ができて幸せです」と、アヤ子さ

堺ラ・メール

歩行訓練のその先へ



歩行器を使って歩いてデイケアに通う末廣君子さん(75)

歩行が不安定でしたが、一人で自由に外出したいという強い思いを持ち、リハビリに取り組んでくれました。努力の甲斐あって、姿勢を修正する習慣が身につく、現在では安定したまっすぐな歩行ができるようになりました。最近では、屋外での歩行訓練

昨年2月より堺ラ・メールデイケアに通われている末廣君子さん(75)。当初は姿勢の傾きや筋力の低下により、



末廣君子さん(75)を支える堺ラ・メールの職員さん(75)

を積極的に言い、施設から自宅まで職員と一緒に歩いて通われています。

タケノコアート

暖かい気候が続いている今日この頃。そんな春に行った制作が「お持ち帰りタケノコアート」です。色紙に春の象徴

初めは段差で歩行器が引つかかることもありましたが、今ではご自身で段差を乗り越えることができるようになりました。これから花見や買い物など、おでかけをたくさん楽しみましょうね！



完成した作品を笑顔で披露される工藤悦子さん(83)

教わったコツを他の方にも教えながら自分の作品を完成させていました。隣で作業されていたのは



たけのこのサイズに合わせて端切れを採寸する亀井慶子さん(87)

のタケノコをあしらった作品になっています。職員に作り方を教わりながら皆さん作業に取り掛かっていました。中でも器用に制作さ

花見外出



笑顔で写真を撮られる金城町子さん(73)

伝ってくれる方、車椅子から桜を楽しむ方、と様々でしたが、公園内には満開に近い桜が咲き誇っていました。「今日久しぶりに来れて嬉

いた。普段はご自身で桜を見に行くことが難しい方、歩行訓練を兼ねて外出したい方などそれぞれの思いを胸に今回参加されています。大仙公園に到着後、ご自身の足で歩く方、「車椅子押すの手伝うよ」と職員を手



職員と一緒にハイチーズ！中村幸男さん(75)

るのは中村幸男さん(75)。今後とも皆さんの健康と楽しみを第一に考えた取り組みを続けてまいります。



皆集まって大仙公園で記念撮影！

しいわ。昔、よく来たから懐かしいわ。」と思い出に浸りながら嬉しそうに話するのは金城町子さん(73)。「結構咲いてるな。綺麗なあ。」と桜を目の前に目を輝かせながら呟く北口隆さん(75)。「ここでお酒でも飲んだら美味しいやろうなあ」と村上義文さん(82)。「今日は来れてよかったわ！ありがとうね」と話され



おっきかったなあ

少し遠出をして、海遊館に行ってきました。たくさん海の生き物を間近で見ることができ、特にジンベエザメが泳ぐ大きな水槽は圧巻で、金谷春代さん(77)は「きたきた〜。うわぁ〜おっきいなあ!」と感動されていました。

中谷俊子さん(94)も楽しみにしており、館内に入るとド



キドキしている様子が伝わってきました。イルカが水面からジャンプした時には、思わず笑顔がこぼれました。

日常では味わえない、自然を体感できた貴重な時間でした。



手作り餃子が食べたい!

「美味しい手作り餃子が食べたい!」という声から始まった今回の企画。包む工程では具材の量に悩みながらも、次第に「たくさん食べたい」という気持ちがあふれ、笑い声の絶えない賑やかな雰囲気。

秋田月子さん(84)は「ずっと同じ量を入れるのつて難し



「おいしいの作で」
秋田月子さん(84)

いなあ」と苦戦しつつも、手際よく次々と餃子を完成させてくださいました。「これできへんかったらお昼ご飯抜きやろ?」と冗談も飛び交い、全

「早く行かな桜散るで!」出発前から皆さんわくわく。

満開の桜が見えると、田中

政子さん(101)は「嬉しいわ」といつこり。「綺麗に咲いてる

わ」と谷口時枝さん(90)と羽野

明美さん(88)。

風が吹くと、大野千壽子さ

ん(85)が「桜吹雪が綺麗やで」と笑顔に。池田トメ子さん

(89)は「来れて良かったわ」

員で協力して手作り。余った具材で作ったつくねも大好評で、おかわりをする方が続出。初めて餃子を包む方も楽しんで、すでに次回を楽しみにする声が多く、美味しいものを囲んで幸せな時間となりました。



甘い香りに包まれながら「チョコバナナパフェ作り」が行われました。カステラに生クリーム、チョコソースを重ね、バナナやハート形のクッキーで特製パフェの完成です。いつも

としみじみ。「来年はお弁当持って行こうね」と、皆さん次の春に胸をふくらませていました。



満開の桜の下でハイチーズ!

と少し違うティータイムに素敵な笑顔が見られました。



「おいしいよ」
古澤久子さん(85)



でお花見

デイサービスの大きな窓から見える桜に春の訪れを感じる季節、「花見とあんぱん」イベントを開催。

今回は生地から手作りで行います。若林

光造さん(81)は「こんな初めて作るなあ」と興味



「香りも味もとてもいいね」
平野孝史さん(82)
成子さん(69)ご夫婦

り、あんこの甘さと絶妙に合わさった春の風味を堪能しました。

深く、手ほどきを受けながら、楽しそうに生地を混ぜていきます。

こねる、発酵させるを繰り返して、膨らんだ生地を見たときには「わあ、こんなに大きくなった!」と歓声が上がりました。

「昔は子どもたちとパンを作ったのよ」と懐かしい思い出を語る平野成子さん(69)。丁寧に生地にあんこを包んでいきます。

生地には桜の塩漬けを刻んで混ぜ、焼き上がりには桜の花を添えました。焼きたてのパンを口にするのと、ふんわりと桜の香りが広が